

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートE p e r s		
○保護者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員配置について、資格要件、実務経験、職員数ともに配置が充実している。	・余裕を持った職員採用をおこなっている。 ・経験者を中心に採用をおこない、さらに専門性を高めるための研修を月に2回おこなっている。	・研修の充実によりさらに専門性を高めることで、職員のやりがい、向上心を持続できるようにしていく。 ・常に“こどもまんなか”をモットーに、職員間が意見交換やコミュニケーションを図れる環境をつくり離職率の低さを継続できるよう工夫していく。
2	ひとりひとりのこども理解を重視し、こどもの特性等に 応じたオーダーメイドの支援をおこなっている。	・児童発達支援管理者を中心とし、職員全員で一人一人のお子様のアセスメントや課題分析を行い、支援計画に盛り込んでいる。 ・職員全員で一人一人のお子様に対するの支援会議や事例検討会をおこない支援内容を検討している。	・職員人数が増え、また時間差出勤のため、全員が同タイミングで情報共有することが難しくなっている。今後月に1回以上、全職員が参加しての支援会議や事例検討会、研修会を実施していく。
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境 設定を工夫、必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所 を使用することが認められる環境を用意している。	・一人一人のお子様の発達特性に合わせ、わかり易い表示や教材・備品の配置の工夫をしています。また気分等に応じてお子様が過ごし方を選択できるよう、個室や落ち着いた環境も用意しています。	・様々な年齢や特性などに合わせて、それぞれのお子様にとって安心できる環境となるよう、空間作りを工夫しています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価をいただく機会が設けられていない。	外部との連絡会への参加ができていない、または参加した者(管理者など)から他の全職員への報告をする機会が設けることができていない。	・職員人数が増え、また時間差出勤のため、全員が同タイミングで情報共有することが難しくなっている。今後月に1回以上、全職員が参加しての支援会議や事例検討会、研修会を実施していく。
2	地域の中で他のこどもと活動する機会を設けることができていない。	お子様への支援への理解や共有は適切な連携を図ってこられたと評価しています。しかし地域の他のお子様との交流は図ることはできなかった。	地域行事への参加などを積極的に行い、交流の場を広げていきたい。
3			